

# 開講科目と講師の紹介

(講師は各科目開講順 ◎は科目責任者)

## A 健康と食

現代社会において、栄養過剰が懸念されている人(肥満をはじめとしたメタボリックシンドローム等)および栄養不良が心配される人(やせ、拒食、高齢者の低栄養等)といった栄養障害の二重負荷が叫ばれて久しい。これらの解決に「健康食」が重要であり、それらを支えるために、ヘルスケア産業の創出、健康増進や介護リスク軽減に関する製品の開発は、喫緊の課題である。さらに、健康食開発企業は、開発力を高めるために、即戦力となる人材を求めている。そこで、「健康食」の定義や科学的根拠、システムティックレビューの意義や方法論などの理解と、健康を支える産業の創出、生体反応からみた次世代の健康食の開発を目指し、課題解決に繋がる能力を身に付けることを目標とする。



食品栄養科学部  
教授 合田 敏尚



◎食品栄養科学部  
教授 新井 英一



食品栄養環境科学研究所  
特任教授 若林 敬二



薬学部  
教授 賀川 義之

## B ITとデータの科学

4つの観点から、IT技術の活用についてわかりやすく説明する。「インターネットを中心にみたIT技術」では、インターネットが出現し現在広く活用されるにいたるまでに普及した重要な基本的技術(TCP/IP、Web等)について学ぶ。「R言語を用いた統計プログラミングの基礎」では統計分析向けのプログラミング言語であるRの基礎を学び、「食データサイエンス：電卓代わりに使うRプログラミングで機械学習」では、実際の食データを対象に、機械学習のしくみと実際について具体的に学ぶ。「Pythonプログラミングの基礎」および「Pythonプログラミングによるシミュレーション」では、現在広く使われている汎用プログラミング言語であるPython言語について、演習を交えて基礎を学んだ後、モンテカルロシミュレーションなどのシミュレーション技法を実践的に学ぶ。



◎経営情報学部  
教授 武藤 伸明



奈良先端科学技術大学院大学  
先端科学技術研究科  
教授 金谷 重彦



経営情報学部  
教授 湯瀬 裕昭



経営情報学部  
教授 渡邊 貴之

## C 地域産業とマーケティング

地域の食関連産業(食品加工業、流通、物流、飲食などのサービス業、農水産業など)の発展を推進する人材として、同産業において今後イノベーションやマネジメント、産学間連携などの中核を担うために必要とされる文理や国内外にわたる、情報、知識、分析等の手法、などを提供する。具体的には、健康寿命延伸のための食環境整備、企業の健康経営と食環境整備、食関連産業のマーケティング、ガストロノミー・ツーリズム(美食観光)の世界的潮流と日本での可能性、食関連の産業集積とイノベーション、食関連企業の海外展開などの講義とディスカッション、ワークショップを通じて、同産業の現状・課題・対応策を検討し今後の発展を展望する。



◎経営情報学部  
特任教授 西野 勝明



経営情報学部  
教授 大久保 あかね



経営情報学部  
教授 岩崎 邦彦



食品栄養科学部  
教授 市川 陽子

## D ビジネスモデル

食関連産業(食品加工業、流通、物流、飲食などのサービス業、農水産業など)において、今後求められている新たなビジネスモデルについて、健康経営の観点からのヘルスケア分野のソーシャルビジネスとヘルスケア産業が抱える問題点、ファミリービジネスの事業継承とその差別化、女性の視点からの新規ビジネスを創り育てるプロセス、新たな産業のエコシステムとオープンイノベーションの枠組みなど、多くの観点から事例に基づいて論じる。講義とディスカッションを通して、食関連産業における新たなビジネスモデルについて、多角的・俯瞰的に考える能力を身につけることを目標とする。



◎経営情報学部  
教授 東野 定律



経営情報学部  
教授 落合 康裕



国際関係学部  
講師 宮崎 晋生



経営情報学部  
准教授 国保 祥子

## E 地域企業とSDGs

まず、SDGsの概念、およびその考え方を学んだ後、SDGs的な考え方と、受講者が所属する団体のミッションや実践可能性との対応関係について討論する。企業の社会的責任(CSR)については、企業が社会的責任を果たすために必要な説明責任について学んだ後、海外の事例と静岡(日本)の事例を比較しながら、今、企業に求められている社会的責任とは何かを、事例を通じて考える。

産業等の人的活動が及ぼす環境負荷について学んだ後、バイオテクノロジーを用いた環境負荷低減技術の開発について考察する。また、人口減少・高齢化社会に直面した都市・地域の持続可能性について学んだ後、人口減少社会に対応した都市・地域経営のあり方について、事例の紹介とともに今後の方策について考える。



◎国際関係学部  
教授 湖中 真哉



経営情報学部  
准教授 上野 雄史



食品栄養科学部  
准教授 原 清敬



経営情報学部  
准教授 岸 昭雄



学長  
鬼頭 宏

## F ワークショップ-グループ実践演習

※「ITとデータの科学」を履修していること

AI、IoT技術、ビッグデータの活用により、産業・社会構造が知的集約型にシフトしていく現代の状況を俯瞰した後、「健康と食」等の領域で得られる実例データを用い、健康・食産業と関連するデータの収集と分析に関する具体的な活用事例を、実践的な演習を通して学ぶ。ITベンチャー企業における実務経験の豊富な外部講師による最先端のAIやIoTの実践例を通して、産業界においても多様な分野の知識・技能の組み合わせが必要となる事例を学び、ITの技術によって新たな価値が創造される例を多く経験する。本実践演習を通して、IT技術を用いたデータ収集・解析の初歩のスキルを修得し、データサイエンスを活用した産業イノベーションの将来を展望できるようにすることを目標とする。



奈良先端科学技術大学院大学  
先端科学技術研究科  
教授 金谷 重彦



◎食品栄養科学部  
教授 合田 敏尚



経営情報学部  
教授 武藤 伸明



食品栄養科学部  
准教授 伊藤 創平



株式会社アドダイス 代表取締役CEO  
広島大学デジタルものづくり教育センター客員教授  
医仁会武田総合病院臨床研究センター研究員  
伊東 大輔

対象：食品関連産業に従事する社会人 40名(申込先着順) 受講無料  
期間：令和2年度後期日程(9月末~令和3年2月) 土曜午後開講

会場：静岡県立大学 健康食イノベーション推進事業 静岡サテライト (静岡市葵区御幸町3-21 7階 静岡市産学交流センター) ※オンライン(同時双方向/オンデマンド)を中心に開講します。ワークショップは左記会場で開催いたします。



全6科目の履修者には、「健康イノベーション教育プログラム修了認定証」を授与します。

※講義日程、各講座のシラバス、申込方法等の詳細は、[静岡県立大学健康食イノベーション推進事業](#)のホームページからご確認ください。

健康食イノベーション

